イエス・キリストは犠牲的な愛の報いを受けた のでしょうか——人類の恥を身に負い、死を 克服したのでしょうか?そうです!

「それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名に まさる名をお与えになりました。

それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。」(ピリピ人への手紙2章9節-11節)

疑問がありますか?イエスに従い、周りの人とともに 成長する人生を送りたいですか?もしそうなら、 こちらにご連絡ください。

(あなたの連絡先をここに書いてください。)

父は私たちを心から愛しています!「私たちが神の子どもと呼ばれるために、御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。」(ヨハネの手紙第一3章1節)「しかし、この方(イエス)を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権(栄誉)をお与えになった。」(ヨハネの福音書1章12節)

イエスは言いました。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。」 (ヨハネの福音書5章24節)

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」 (ローマ人への手紙10章9節-11節)

あなたも罪と恥の人生に勝利したいですか?神の子どもになる栄誉を受け取りたいですか?永遠のいのちを受けたいですか?罪から離れて、イエスに従いましょう。次の祈りを心から祈ってください。

「イエス様、私が今まで神様の栄誉、愛、聖さを汚してきたことをあなたはご存じです。赦してください。私は心から、決して消えない栄誉を求めます――神の子どもに加えられるという栄誉を。イエス様、愛ゆえにあなたが私の罪と恥を引き受けてくださったことを信じます。そして、私たちが神様の栄誉をいただいて神の家族に加えられたことを信じます。あなたは天国の大いなる祝宴に招いてくださっています。そうです、私も祝宴に加わらせてください。あなたが死からよみがえり、罪と恥と死に勝利されたことを信じます。私を罪と恥から救い、あなたの永遠のいのちにあずからせてください。主イエスよ、あなたを信じます。アーメン。」

「イエスの答えはこうです。 "わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」 (ヨハネの福音書14章6節)

イエス・キリストは完全で、清く、聖なる方でした。しかし、公衆の目の前で罪ある人々の手にかかって死にました。聖書によると、イエスは 恥を負わされ、木の十字架にくぎ付けにされたと書いてあります。イエスが死んだあと、その体は墓に納められました。しかし3日後に、神様はイエスを死からよみがえらせ、大きな栄養を与えたのです。

イエスは罪、恥、死に勝利しました。

イエスは十字架上で死んで、すべての人の恥を負いました。しかし死からよみがえることによって、イエスは私たちのために罪と恥に勝利してくださいました。私たちがイエスを信じ日々イエスに従う時に、私たちも本当に罪と恥に勝利した人生を送ることができるのです!

栄光の愛。「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」(ローマ人への手紙5章8節)

父親は2人の息子に恥をかかされ、傷つけられました。でも息子たち への愛から、父親は恥をしのび、息子たちとの関係を回復しました。 イエスは教えています:神様は、この父親のように、私たちのために 恥をしのんでくださるお方です。

人間である私たちは1人の例外もなく罪人で、



創造主である神様を侮辱し、傷つけています。 「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さ る賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある

永遠のいのちです。」(ローマ人への手紙6章23節) それ でも、神様は私たちを愛しているので、私たちの恥を引き受けて くださり、神様の栄誉を私たちにくださるのです。

どうしてそんなことがあり得るのでしょうか?愛によって、全能の神 が私たちの罪と恥を引き受けてくださり、神様の義と栄誉を 与えてくださるなんて。

今日、神のすばらしい家族の一員になるという栄誉をいただき、 天国の盛大な祝宴に参加する方法があるのでしょうか?



弟を赦した父親の行為を憎むこ

愚かなことをして父親の名を汚 とによって父を侮辱した。

遠い国で行方不明になった。の ちに、謙遜と悲しみをもって家 に帰った。

家にいたが救われていなかっ た。いつも父親と一緒にいたの に、みにくいプライドでいっぱ いだった。

汚い罪と恥から離れ、父親の前 に身を低くした。

隠され、名誉は回復された。

自分には罪も恥もないと信じ、 父と口論し、父を責めた。

父の愛を受け止めた。恥は覆い 父の愛と憐れみの大きさに全く 気づかなかった。

盛大な祝宴に出席するため、父 の家に入っていった。

盛大な祝宴の間、父の家に入ろ うとしなかった。

イエスは言いました。 「あなたがたに言いますが、それと同じ ように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のな い99人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。」

祝宴を中座するのは父親に とって恥ずべきことでし



彼はどんな父親なのでしょうか?

「それなのに、女にお ぼれて財産を使い果た したこのあなたの息子 のためには、肥えた子 牛をほふらせなさった のですか!」

父親は長男に言いました。「息子よ、おまえはいつも私といっし、私のものは、全部おき日は喜びだ。だが今日は喜びで、祝う日だ。おまえのもび、祝っ日だ。おまえのもないたのに生から、いなくなっていたのに見つかったのだから。」

長男は家に入ろうと もしませんでした。 それで、父親は出て きて、家に入るよう なだめました。 でも長男は父親に言 いました。「ご覧な さい。長年の間、私 はお父さんに仕え、 奴隷のように働いて きました。いいつ けを守らなかったこ とは一度もありませ ん。その私には、 友達と楽しめと言っ て、子山羊一匹く ださったことが ありません。」



長男はどのように父親を 侮辱したのでしょうか?



どうして長男は怒って いるのでしょうか?

長男はしもべのひ とりを呼んで問い ただしました。 「これはいったい どういうことだ? 」しもべは言いま した。「弟さんが お帰りになり、お 父さんが肥えた子 牛をほふらせなさ ったのです。お父 さんは弟さんが無 事お帰りになった ので喜んでいるの です。」

しかし長男は怒っていました。

「この息子は、死 んでいたのに生き 返った!いなくな ったのに見つかっ たのだ!」こうし て祝宴が始まりま した。

その時、長男は畑に出ていて留守でした。家に帰ろうとすると、音楽や踊りの音が聞こえてきました。



次男のために父親が開いた祝 宴は村の人々を驚かせまし た。なぜでしょうか?



父親は次男を大切に思って、盛大な祝宴を用意しま した。なぜでしょう?

ところが父親はし もべたちに言いま した。「急いで! いちばん良い着 物を持ってきて、 この子に着せなさ い。それから、手 に指輪をはめさ せ、足に上等なく つをはかせなさ い。そして肥えた 子牛をほふって食 べ、祝おうではな いか。」

次男は言いました。「お父さん、僕は神に対して罪を犯し、またあなしました。もうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。」



次男には何が必要なのでしょうか?

父親が息子の元に走り寄 るなんて、恥ずかしいこ



近所の人が見ている 中、次男が恥をかかな いように父親はどのよ うに守ったのでしょう 719

父親は次男が帰っ てくるのを見ると かわいそうになり ました。 そして次男の元に

走り寄って抱きし め、口づけしまし

こうして、次男は 父親の元へ戻り ました。 でも、次男が まだ 遠い ところにいる時、





次男は、父親がどう反応する と思っているでしょうか?

ここから抜け出す道はあるのでしょうか?

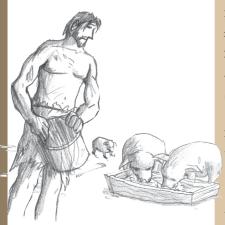


「僕は父のところ へ行ってこう言お う。『お父さん、 僕は神に対して罪 を犯し、またあな たの前に罪を犯し ました。もうあな たの息子と呼ばれ る資格はありませ ん。あなたの雇い 人のひとりにして ください。』」

次男は自分が愚か だったことに 気づきました。 「お父さんの雇い 人はたくさん食べ 物をもらって いた。 でも今、僕はこん なに飢えて 死にそうだ。|



どうして次男はついに謙遜 になったのでしょうか?



次男はどうやって生きて 行けばいいのでしょう?

次男は仕事を探しに 行き、ある人から仕 事をもらいました。 その人は次男を農場 に行かせ、豚にえさ をやらせました。 次男はお腹がすいて いたので、豚のえさ を食べたいとさえ 思いました。 でも、誰も次男に食 べ物をくれる人は いませんでした。

外国で、次男は湯 水のようにお金を 使いました。

全てのお金を使いきってしまった後、ひどい飢饉 (食べ物がないこと)が国を襲いました。 次男はお腹がすいて、お金もありませんでした。



どうしてそんな悪いことが できたのでしょうか?



なぜ父親は次男の言う なりになったの でしょうか?

父親は財産を半分 に分け、2人の息 子に譲りました。

それから間もなく、次男は自分の 受け継いだ財産を 売り払い、そのお 金を持って家を出 て行きました。そ して遠い外国まで 旅をしました。 イエス・キリストは多くの美しい話やたとえ話をされました。中でも一番有名なのはこの話かもしれません。

2人の息子を持つ 父親がいました。 次男は父親に言い ました。 「受け継ぐべき財 産の分け前を今 ください。」 次男はどうしてこんなにひどい要求

ができたのでしょうか?

名誉を回復してくれるのは誰?

父の愛

